※令和４年度以降入学生用

学校番号	C2101

令和５年度　保健体育科

科目	保健ｂ	単位数	1	必要Ｓ出席数	1
使用教科書	現代高等保健体育　（大修館書店）				
副教材等	なし				

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レポート	３通	1	1	1
スクーリング	４回	2	1	1
テスト	１回	×	×	○
課題・実習等	テストが合格点に達しない場合は再テストを実施			

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- レポートは、空欄があると再提出になります。教科書をよく読み、すべて記入してから提出するようにして下さい。
- スクーリングは、レポートで扱う内容をより深く学習できるよう講義します。

２　学習の到達目標

（１）個人および社会生活における健康・安全について理解を深める。
（２）生涯を通じて自らの健康を適切に管理する。
（３）自分や家族の健康に関して考え、必要に応じて改善していく資質や能力を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考･判断･表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	● 保健を日常生活と関連付けながら理解している。 ● 課題に対して、合理的･計画的な解決方法を身につけている。	● 保健を様々な要素と関連付けて、多角的、多面的に考えている。 ● 保健を学ぶための諸資料から、有効な情報を適切に読み取ることができる。	● 保健を学ぶ意義に気づき、保健に対する関心を高め、主体的に学習に取り組もうとしている。 ● 保健を学ぶ中で、社会を形成していく当事者としての自覚をもって考える態度を身につけようとしている。
・学年末に５段階で評価する。			

※令和４年度以降入学生用

４ 学習の活動

範囲	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
Ⅰ	生涯を通じる健康	1. ライフステージと健康 2. 思春期と健康 3. 性意識と性行動の選択 4. 妊娠・出産と健康 5. 避妊法と人口妊娠中絶 6. 結婚生活と健康 7. 中高年期と健康 8. 働くことと健康 9. 労働災害と健康 10. 健康的な職業生活	a. 生涯にわたって健康を保持増進するためには、思春期、結婚生活、加齢による心身の変化など、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理を行う必要があることを理解している。 b. 生涯を通じる健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決方法を考えている。 c. 生涯を通じる健康について、主体的に取り組もうとしている。	レポート	レポート	受講態度の観察
Ⅱ	健康を支える環境づくり	1. 大気汚染と健康 2. 水質汚濁、土壌汚染と健康 3. 環境と健康にかかわる対策 4. ごみの処理と上下水道の整備 5. 食品の安全性 6. 食品衛生にかかわる活動	a. 社会生活における健康の保持増進には、環境などが深くかかわっていることを理解している。 b. 健康を支える環境づくりについての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決方法を考えている。 c. 健康を支える環境づくりについて、主体的に取り組もうとしている。	レポート	レポート	受講態度の観察
Ⅲ	健康を支える環境づくり	7. 保健サービスとその活用 8. 医療サービスとその活用 9. 医薬品の制度とその活用 10. さまざまな保健活動や社会的対策 11. 健康に関する環境づくりと社会参加	a. 我が国の保健・医療制度や機関について知り、地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが重要であることを理解している。 b. 健康を保持増進するためのヘルスプロモーションの考え方を生かし、自らの適切な生活行動について考えている。 c. 環境づくりに積極的に参加する意義や方法について、主体的に学ぼうとしている。	レポート 定期考査	レポート 定期考査	受講態度の観察

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度